

平和首長会議加盟自治体の皆様

平素より平和首長会議の活動にご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。  
平和首長会議の近況をお知らせします。

<<今号の内容>>

\*\*\*\*\*

- ◆第9回平和首長会議理事会を開催
  - ◆松井市長が英国とオーストリアを訪問
  - ◆フランス・パリ市で起きた同時多発テロに関する声明文を発出
  - ◆平和首長会議が第1回「ラ・ピラ賞」を受賞
  - ◆平和首長会議副会長都市であるフロン市（ノルウェー）のトーレ・ベツビ氏が市長を退任し、名誉市長に
  - ◆ヒロシマ発平和関連ニュース（中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事）
  - ◆加盟都市の活動紹介
  - ◆平和首長会議情報システム稼働のご案内
  - ◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします
  - ◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内
  - ◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！
  - ◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！
  - ◆11月の平和首長会議会長訪問
  - ◆平和首長会議加盟自治体数：161カ国・地域 6,940自治体
- \*\*\*\*\*

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

ホームページ：<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

=====  
**◆第9回平和首長会議理事会を開催**

[11月12・13日、イーペル市(ベルギー)]

=====  
11月12・13日、ベルギー・イーペル市において第9回平和首長会議理事会が開催され、11都市が出席しました。会議では、出席した役員都市が、核兵器廃絶やそれぞれの地域が直面する様々な課題に対する取組を発表するとともに、平和首長会議の今後の取組等について議論しました。

主な決定事項は以下の通りです。

1. 2020 ビジョンキャンペーンのイーペル市から広島事務局への移管
2. 2020 ビジョンに基づき、核兵器廃絶に向けて今後集中して取り組むべき項目
3. 2020 ビジョンに基づく活動に加え、貧困・難民・気候変動等の緊急課題についても平和首長会議規約第3条の規定に従って取り組むこと
4. 2017年8月に長崎市で総会を開催すること

また、2020年に一年前倒しで広島市において総会を開催することを確認しました。

最後に、国連の下に設けられる予定の公開作業部会への参加を各国政府に要請すること等を盛り込んだ決議文を採択して閉会しました。

会議の詳細については、以下のリンクをご覧ください。

▼第9回平和首長会議理事会の開催（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/directors/9th/index.html>

=====

### ◆松井市長が英国とオーストリアを訪問

[11月14日～17日、マンチェスター市・ロンドン市(英国)、ウィーン市(オーストリア)]

=====

第9回平和首長会議理事会を終え、松井一實 広島市長・平和首長会議会長は、英国とオーストリアを訪問しました。

英国においては、平和首長会議副会長都市であり、英国・アイルランド地域のリーダー都市でもあるマンチェスター市を最初に訪れ、同市市長にリーダー都市就任認定証を手交しました。また、広島市が同市に送った被爆イチョウの種を平和のシンボルとして若い世代に育ててもらおう「プロジェクトG」記念行事に出席しました。さらに、同市に本部を置く地雷撤去団体「Mines Advisory Group」(MAG)を訪問し、意見交換を行いました。

次に訪れたロンドン市では、英国議会において、上下両院議員や平和首長会議加盟都市市長、平和NGO関係者等約50名に対し、被爆の実相等についてプレゼンテーションを行うとともに、同市副市長を訪問し協力を要請しました。

オーストリア・ウィーン市では、国連ウィーン事務所で開催された原爆展開設式典に出席したほか、ウィーン16区(オッタクリング)区長、オーストリア外務大臣、包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)準備委員会暫定技術事務局長、在ウィーン国際機関日本政府代表部特命全権大使と面会し、今後の連携を確認しました。

▼詳細記事(平和首長会議ウェブサイト)：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/gallery/2015\\_executive\\_con/index.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/gallery/2015_executive_con/index.html)

=====

### ◆フランス・パリ市で起きた同時多発テロに関する声明文を发出

[11月16日]

=====

11月13日にフランス・パリ市で起きた同時多発テロに対し、平和首長会議は11月16日、声明文を发出し、全加盟都市に送付しました。

犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表し、テロ行為を非難するとともに、テロリストによる核兵器使用の危険性に言及した上で、市民を核の脅威から解放し、真に平和な世界を築くための更なる連帯を呼びかけました。

同じく11月16日、フランス・マラコフ市に事務局を置く「AFCD RP フランス平和自治体協会」も今回のテロに関する声明文を发出しました。

▼平和首長会議による声明文(日本語訳、原文は英語 平和首長会議ウェブサイト)：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/151116\\_Statement\\_for\\_Paris\\_terrorist\\_attacksJ.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/statement/request/151116_Statement_for_Paris_terrorist_attacksJ.pdf)

▼「AFCD RP フランス平和自治体協会」による声明文(英語、原文はフランス語 平和首長会議ウェブサイト)：

[http://www.mayorsforpeace.org/english/topic/2015/Nov13Terrorist\\_Attacks\\_in\\_France/EN\\_DeclarationAFCD RP\\_13nov.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/english/topic/2015/Nov13Terrorist_Attacks_in_France/EN_DeclarationAFCD RP_13nov.pdf)

声明文に対し、以下の加盟自治体から賛同のメッセージが届いています。(12月11日現在)

- ・バプノム郡(カンボジア)
- ・パリ市(イタリア)
- ・チェスター市(英国)
- ・コトル市(モンテネグロ)
- ・ロンドン市(英国)
- ・ミュルハイム・アン・デル・ルール市(ドイツ)
- ・サントス市(ブラジル)
- ・台北市(台湾)

=====

## ◆平和首長会議が第1回「ラ・ピラ賞」を受賞

=====

11月5日、イタリア・フィレンツェ市で行われた国際会議「Unity in Diversity (多様性の中の調和)」において、フィレンツェ市とラ・ピラ財団によって創設された第1回「ラ・ピラ賞」を平和首長会議が受賞することが発表されました。同賞は、1950年代から60年代にかけてフィレンツェ市長を務めたジョルジオ・ラ・ピラ氏にちなんで名付けられました。ラ・ピラ氏は第二次世界大戦後の混乱期のイタリアにおいて、貧困層に対する雇用・住宅支援を行うとともに、平和のために尽力した人物です。今回、平和首長会議の平和に関する貢献が評価され、第1回目の同賞の受賞が決定しました。

▼記事全文(平和首長会議ウェブサイト)：

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/award/2015\\_LaPira/index.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activities/award/2015_LaPira/index.html)

=====

## ◆平和首長会議副会長都市であるフロン市(ノルウェー)のトーレ・ベツビ氏が市長を退任し、名誉市長に

=====

平和首長会議の副会長都市であるノルウェー・フロン市の市長を12年間にわたって務められたトーレ・ベツビ氏が10月12日、市長を退任されました。フロン市は、2009年に平和首長会議に加盟し、2013年からは副会長都市として、ノルウェー国内における平和首長会議の活動推進の中心的な役割を担ってきました。

ベツビ氏は名誉市長に就任し、平和首長会議その他の平和関連の任務についてハクター・スレイク新市長の代理を務められることになりました。平和首長会議は、ベツビ氏の長年にわたる貢献に対し感謝の意を表すと同時に、引き続き平和首長会議の活動に御支援・御協力いただくよう期待しています。

=====

## ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第14回)

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

平和の大切さを国内外に訴えている広島市で11月下旬、国際色豊かな二つの大きなイベントが開催されました。一つは、昨年に続き二度目となる広島国際映画祭です。スイスの映像作家が核時代に疑問を投げ掛ける作品など、被爆地での上映がふさわしい映画が幾つもあり、多彩なラインナップの中に見られました。もう一つは、世界核被害者フォーラムです。広島・長崎だけではなく、核開発や核実験、原発事故などによるヒバクシャが各地にいます。あらためて、そのことに気付いた人は少なくなかったでしょう。

こうしたイベント以外にも、世界中からさまざまな人が広島を訪れます。先月末に原爆資料館を見学した米国の退役軍人は「指導者も含め世界のあらゆる人が広島に来るべきだ」との感想を述べました。来年4月には、サミットに先立つ外相会合に出席する核兵器保有3カ国の外相が広島市の平和記念公園を訪れます。原爆被害の実情を知って、どんな感想を述べるか、世界の目が注がれることでしょう。

関連記事は次のアドレスで読めます。

○「核時代」記録映画で問う 祖父が被爆者を治療 映像作家ドメーニグさん 23日中區で日本初上映

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=53801>

○核被害者 実態語る 広島 世界フォーラム開幕

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=53902>

○「核被害者の権利」訴え 「憲章要綱草案」を採択 広島での世界フォーラム閉幕

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=53938>

○米退役軍人、核廃絶へ決意 平和公園を初訪問「あらゆる人が来るべき」

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=54056>

○「原爆被害 伝える好機」 米英仏外相 平和公園訪問 被爆者ら 核廃絶へ注文も

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=53980>

(ヒロシマ平和メディアセンター提供)

=====

## ◆加盟都市の活動紹介

=====

-----  
\*ヴュルツブルク（ドイツ）

原爆投下 70 周年記念行事を開催

-----  
広島・長崎への原爆投下 70 周年の今年、ヴュルツブルク市は原爆ポスター展、市長の長崎市訪問、長崎の被爆者で構成する合唱団のコンサート等、様々な記念行事を開催しました。

▼詳細記事（平和首長会議ウェブサイト）

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/2015/Wuerzburg/events.html>

▼加盟都市の活動（平和首長会議ウェブサイト）：

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/memberscity/index.html>

各加盟都市で実施された被爆 70 周年行事及び国際平和デー記念行事に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼被爆 70 周年記念事業実施都市一覧（12 月 11 日現在）（平和首長会議ウェブサイト）

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/projects/70th\\_anniversary/List\\_of\\_commemorative\\_events\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/activites/projects/70th_anniversary/List_of_commemorative_events_J.pdf)

=====

#### ◆平和首長会議情報システム稼働のご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を構築しました。このシステムを利用することで、加盟自治体の情報検索、各自治体の情報更新等が可能となります。貴自治体の情報を最新のものに更新していただくとともに、平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただきますようお願い申し上げます。なお、システムの利用方法等については別途メールでお知らせしています。まだシステムを利用したことがない自治体の担当者の方はログインしてみてください。

▼システムの URL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご不明点等は、次のアドレスにお問い合わせください。

▼E メール: [mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mfpsystem@pcf.city.hiroshima.jp)

=====

#### ◆平和首長会議メンバーシップ納付金に御協力をお願いします

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において、今後の活動を活発化し、より連帯意識の強化を図ることを目的に、メンバーシップ納付金制度の導入を決定し、今年度から 1 都市当たり年額 2,000 円の負担をお願いすることとなりました。

加盟自治体の皆様へは、本年 5 月 12 日付けの E メールで当該制度開始の案内を送付し、7 月 1 日付けで請求書等を郵送しております。7 月 1 日付けで送付した請求書の納付期限は 9 月 30 日（水）となっておりますが、まだ、納付していただけていない自治体の皆様におかれましては、12 月 28 日（月）までに納付していただきますようお願い申し上げます。

なお、仮に納付金を負担しない都市があったとしても、その都市に離脱を求めることはしない旨、第 8 回総会で決定していますので、そうした場合でも、引き続き平和首長会議に加盟していただき、住民の方々の平和な生活を守るため、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け共に行動していただければ幸いです。

納付金の納付が困難な場合は、その旨、事務局まで御連絡くださいますようお願いいたします。

皆様の御協力をお願いいたします。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

▼FAX: 082-242-7452

=====

**◆被爆樹木の苗木等の配付事業及び「平和の灯」の分火事業のご案内**

=====

平和首長会議では、平成 25 年 8 月の第 8 回総会において策定された行動計画の具体的取組である被爆樹木の苗木の配付事業及び「平和の灯」の分火事業を昨年度から開始しました。

11 月 1 日から 30 日までに、国内では、安曇野市（長野県）、富士市（静岡県）、高槻市（大阪府）及び石垣市（沖縄県）にアオギリを、長久手町（愛知県）にクスノキを、川崎市（神奈川県）にアオギリとクスノキを配付しました。

被爆樹木の苗木又は「平和の灯」の受け入れを希望される場合、所定の申請書を E メール又は FAX にて事務局までお送りください。

※ 被爆樹木の苗木の配付については、配付本数に限りがあるため、万一不足することになった場合は翌年度以降の送付となりますので、あらかじめご了承ください。

※ 両事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

=====

**◆平和首長会議原爆ポスター展を開催しましょう！**

=====

平和首長会議では、第 8 回総会において策定された行動計画に沿った取組として、平和首長会議原爆ポスター展に国内外の加盟都市を挙げて取り組んでいます。

引き続き、ポスター展の開催にご協力ください。

※ポスター概要：標準サイズ A2 版、18 枚

▼ポスター展の詳細及びポスターのダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/projects/poster/index.html>

=====

**◆「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動を展開しましょう！**

=====

2020 年までの核兵器廃絶を実現するために最も効果的な方法は、世界のすべての国が「核兵器禁止条約」を締結することです。「核兵器禁止条約」とは、核兵器の製造、保有、使用等を全面的に禁止する条約です。

皆様のご協力により、2015 年 12 月 1 日現在、2,217,293 筆の署名が集まっています。

今後とも、全加盟都市を挙げて積極的に署名活動を展開しましょう。

（署名はインターネットからも可能です。）

▼署名用紙（PDF）

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01\\_monthly\\_updating/11\\_petitionform\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/01_monthly_updating/11_petitionform_jp.pdf)

▼オンライン署名

<https://www.ssl-z.city.hiroshima.jp/pcf/jp/form.htm>

▼関連情報：広島市の市民署名活動の展開

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1333414321137/index.html>

=====

**◆11 月の平和首長会議会長訪問**

=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、11 月に次のような海外からの来訪者の表敬訪問を受けました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

\*11 月 26 日（木）イブラヒーム・アル・ジャアファリー イラク共和国外務大臣

=====

**◆平和首長会議加盟都市数：161 カ国・地域 6,940 自治体**

=====

皆様のご理解とご協力により、今月 47 自治体が新たに加盟し、平和首長会議の加盟都市数は 12 月 1 日現在で 6,940 自治体（161 カ国・地域）となりました。

日本国内では、静岡県御前崎市等 10 自治体（1 市 8 町 1 村）が加盟し、国内加盟都市数は 1,607 都市（加盟率 92.3%）となりました。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの 22 都市が加盟し、同国の加盟都市数が 792 都市となりました。コソボからは首都のプリシュティナ市が加盟し、この結果、計 115 カ国の首都が平和首長会議加盟都市となりました。また、NGO ピースボートがメキシコのキンタナ・ロー州に寄港したことに伴い、今月同国から 3 都市が新たに加盟しました。この他、9 カ国から計 11 都市が新たに加盟しました。

引き続き近隣未加盟自治体や姉妹都市への働き掛けなど皆様のご支援をよろしく申し上げます。

▼12 月 1 日付新規加盟都市一覧

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1512\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/2015/newmembers1512_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ、連絡先変更等は下記までご連絡ください\*\*\*

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5

（公財）広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL:082-242-7821 FAX:082-242-7452

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)